

実家で「一人林業」を満喫 (退職後の 10 年・・・)

2007 年 1 月 55 歳で会社都合により早期退社しました。その後、当時のジャスコ高松店（現在イオン高松店）にパート従業員として 4 年間お世話になりました。

現在は、高松市円座町にて家内と二人で暮らしております。家内はパート勤めをしながらバトミントン、パドルテニス、お花、女子会等と忙しい日々を送っています。私とえば、テレビ番組の金スマに登場する「一人農業」みたいな「一人林業」を楽しんでいます。

退職前後して両親を亡くして、実家と山林を相続しました。実家は、柏原溪谷の綾川町町営キャンプ場「Tatuta の森」の横にあり家から約 20 km 程の距離です。また山林は、実家から車で 20 分ぐらいの笠形山の中腹に面積は約 9.8ha(固定資産税課税台帳より)あります。ここは、私が生まれた場所（本籍地）でもあり小学 4 年ごろまで暮らしておりました。今は跡形もなく石垣だけが幼い面影として残っています。



「一人林業」の拠点は、実家にあります。まず、実家に行き作業服に着替え軽トラックに道具などを積み込み山へ行きます。山では、枝打ちと間伐が主な作業になります。枝打ちは、寒い時期にしないと切口から水が侵入して腐敗の原因となる為、12月から2月ごろまでの間にします。初めのころは梯子の上での作業が怖かったけれど今では4mの梯子のうえに立っても出来るようになりました。間伐作業は、チェーンソーを使い桧の根元を切って倒します。10m以上になると隣の桧にもたれかかって倒れないので、株のほうを移動させて倒します。この作業が一番苦勞します。なので1日に3~4本ぐらいしか伐採できず、この調子でいけば10年かひよっとすると一生終わらないかも…。倒れたら約3mに玉切りし枝があれば切り払い丸太にします。現在では間伐材を製材所に出荷していますが、始めたころは間伐材をどの様にするのか解からずに野積みしておりました。このままでは大きくなった桧が無駄になり何とか利用できないかと思案の末ログハウスを思いつき、この丸太でログハウスを作ってみました。電気は来ていませんが山仕事の小屋として、お昼にはお湯を沸かして食事をしたり休憩所として活用しています。ゆくゆくは露天風呂を建ててみたいと思案中です。また間伐材が必要な方には差し上げますので連絡ください。

実家では、作業服などを洗濯したり夏場には風呂に入ることが出来て助かっています。また、天候不良などで山仕事が出来ないときがあります。この為に2階を改造してシアター兼オーディオルームを作りました。大量のスピーカーとアンプを使い迫力のある音響で音楽やカラオケが楽しめます。また、シアターには10年以上当家の押入れで眠っていた懐かしの「LP-Z2」と80インチスクリーンを装備して迫力の画面と音で映画などが楽しめるようになっていました。この歳になってホームシアターの魅力を体感できるとは思いませんでした。シアター用プロジェクター「LP-Z2」は、現在のデジタルハイビジョンにしっかり対応でき当時の性能の高さにいまさらながらに驚いています。しかしながら、ランプの寿命が尽きれば終わりですが…(-_-;)

その他実家には、少しの畑があって雑草と格闘しながら野菜などを育てています。また近くには竹藪もあって猪と競争しながらタケノコ堀をしたり、僅かですが椎茸栽培もしています。

最近では、間伐材の活用方法として間伐材を製材して椅子やベンチなども作っています。この為に納屋を改造し、中古の機械を導入して本格的に取り組んでみたいと考えております。その他実家には、工具や道具類（父が取りそろえた物）が豊富に揃っているので修理や改造、日曜大工にも不自由しません。叔父が建築業をしているので時々現場作業のお手伝いに行くこともあります。なので年中暇などありません。（笑）



最後に、学生のころから真空管アンプを組み立てる趣味があって過去に何台か組み立てています。自作した真空管アンプで聞く音は格別です。最近になって人生最後の作品として、長年の夢であり憧れだった「6V6PP アンプー10W+10W」の制作を始めました。ワクワクしながら少しずつシャーシーの加工に取り掛かり、どんなな音色の音が出せるか思案しながら、頭の中に配線図面をいろいろ描いては至福の時間を過ごしています。

一人林業には危険なことも多々あります。安全第一で無理をしないようにして、また体調管理に留意して体力の続く限り出来たらと思いつつ日々過ごしています。

以上